

こども本の森京都（仮称） 整備・運営に関するアンケート

京都市では、元京都市立明倫幼稚園の改修工事の寄付を受けて、「こども本の森京都」（仮称）を令和9年度中に開館する予定です。

この度、運営に関する方向性を定めた「こども本の森京都（仮称）基本方針（案）」を作成しましたので、市民の皆さまのニーズを把握し、基本方針の策定等にかかしていただくことを目的に、アンケートを実施します。

地域にお住まいの方、子育て中の方はおもとより、お子様自身も含めて、皆さまのご意見をお寄せください。

【募集期間】

令和8年4月6日（月）～4月24日（金）

【回答方法】

ホームページ専用フォームから回答してください。

※URLはこちら。右にある二次元コードからもアクセスできます。

https://sc.city.kyoto.lg.jp/multiform/multiform.php?form_id=11288



【質問例】

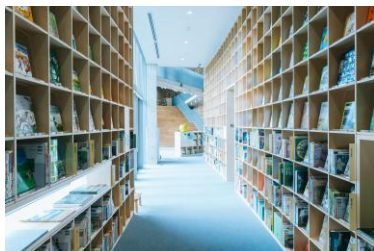
- ・基本コンセプトの4つの重視事項のうち、どれを大切にしてほしいですか。また、このほかに重視してほしい事項やご意見があれば、具体的に回答してください。
- ・施設内では、どのように過ごしたいですか。
- ・どのようなイベント・ワークショップが行われるとよいですか。

※選択肢方式の質問を多くご用意しています。お気軽にご回答ください。

「こども本の森」とは？

建築家の安藤忠雄氏が、全国に設計、寄付してきた、子どもたちが多様な本と出会いながら読書を楽しむことができる施設です。

安藤氏は、御自身の経験から「これからの社会を支えていく子どもたちに、できるだけ多くの本と出会い、豊かな感性を育んでもらいたい。スマートフォンに触る時間を半分に、本を読み、考え、そして悩むことで、人生を生き抜く力を身に付けてほしい。」と願われ、令和2年7月に大阪府大阪市に開館した「こども本の森 中之島」を皮切りに、岩手県遠野市、兵庫県神戸市、熊本県などにも寄付されており、令和8年度には北海道札幌市にも開館を予定しています。



こども本の森 中之島（大阪市）

こども本の森 神戸（神戸市）

こども本の森 遠野（岩手県遠野市）

「こども本の森京都」(仮称)とは？

安藤氏から京都市に、中京区にある「元京都市立明倫幼稚園」の建物を活用した「こども本の森」の整備に必要な工事一式について寄付の申し出をいただきました。

この申し出を受けて京都市では、屋外での活動が制限される雨天時や猛暑の夏場にも利用できる屋内の子どもの「居場所」を確保する重要性が年々高まっていることを踏まえ、子どもたちが、安心して過ごしながら本に出会い、感性と知的好奇心をはぐくむ「こども本の森京都」(仮称)の令和9年度中の開館に向けて取り組んでいます。

この度作成した「こども本の森京都(仮称)基本方針(案)」では、施設の基本コンセプトや運営方法について、現在京都市が考えている内容をお示ししています。

下記に大事なポイントを抜粋していますので、ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

次のページに施設イメージも掲載していますので、参考としてご覧ください。



こども本の森京都(仮称)基本方針(案) ※抜粋

基本コンセプト

～子どもたちが文化・芸術に囲まれながら、豊かな感性と知的好奇心をはぐくむ「明倫の寺子屋」～

① 安心して過ごせる居場所づくり

昭和12年に地域からの寄付を経て設立され、多くの子どもたちの成長を見守ってきた元京都市立明倫幼稚園を活用し、子どもたちが本を起点に歴史や文化に触れながら、地域に見守られ安心して過ごせる「居場所」を創出します。

② 知的好奇心を刺激し、感性をはぐくむ空間

子どもたちが自由に探索し、発見できるような、魅力的な空間デザインと蔵書構成を行い、子どもたちの知的好奇心を刺激し、豊かな感性をはぐくみます。

③ 本物(ほんまもん)との出会いの場の創出

商業の中心地であるとともに、祇園祭には多くの山鉾が並び、京都の文化芸術振興の拠点である京都芸術センターがある、文化と賑わいが共存するまち明倫学区の特徴を生かし、子どもたちが、文化・芸術に触れることで、子どもたちの五感を刺激し、京都への愛着や豊かな創造力を高める機会を創出します。

④ 地域コミュニティとのつながり

これまで地域の方に愛され、地域コミュニティ活動の拠点として利用されてきた建物であることを踏まえ、子どもたちと地域が共生し、賑わいのある場所を創出します。

蔵書数

概ね1万5千冊

※絵本・児童書を中心として、図鑑、写真集、文化・芸術、京都の文化、慣習、歴史、伝統工芸に関するもの等を揃え、配架はこどもの視点で創造性を刺激するようなゾーニングとする。

※本の貸出しは行わない。

入館料等

無料(但し、有償のイベント、物販等も検討する。)

※子どもだけでなく、大人も入館可能



企画・行事

特色ある行事・展示等の企画を実施する。その他、京都芸術センターや地域等とつながりながら、イベント、ワークショップを展開する。

スケジュール

令和8年夏頃以降 建物改修着工

令和9年度中 完成目途

☆このほか、開館時間は午前9時30分～午後5時、休館日は月曜日、年末年始と想定しています。

☆閉館日や開館時間外は、明倫学区の自治活動場所として活用いただく予定です。

☆方針(案)の全文は、こちらからご確認いただけます。

※URLはこちら。右にある二次元コードからもアクセスできます。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000352066.html>



(参考) 施設イメージ

建物の中でたくさん本の本に囲まれながら本を読むことも、ウッドデッキで涼みながら、芝生の庭で寝ころびながら本を読むこともできます。

また、読書だけでなく、イベントやワークショップで様々な体験をすることができます。

☆閉館日や開館時間外は、明倫学区の自治活動場所として活用いただく予定です。

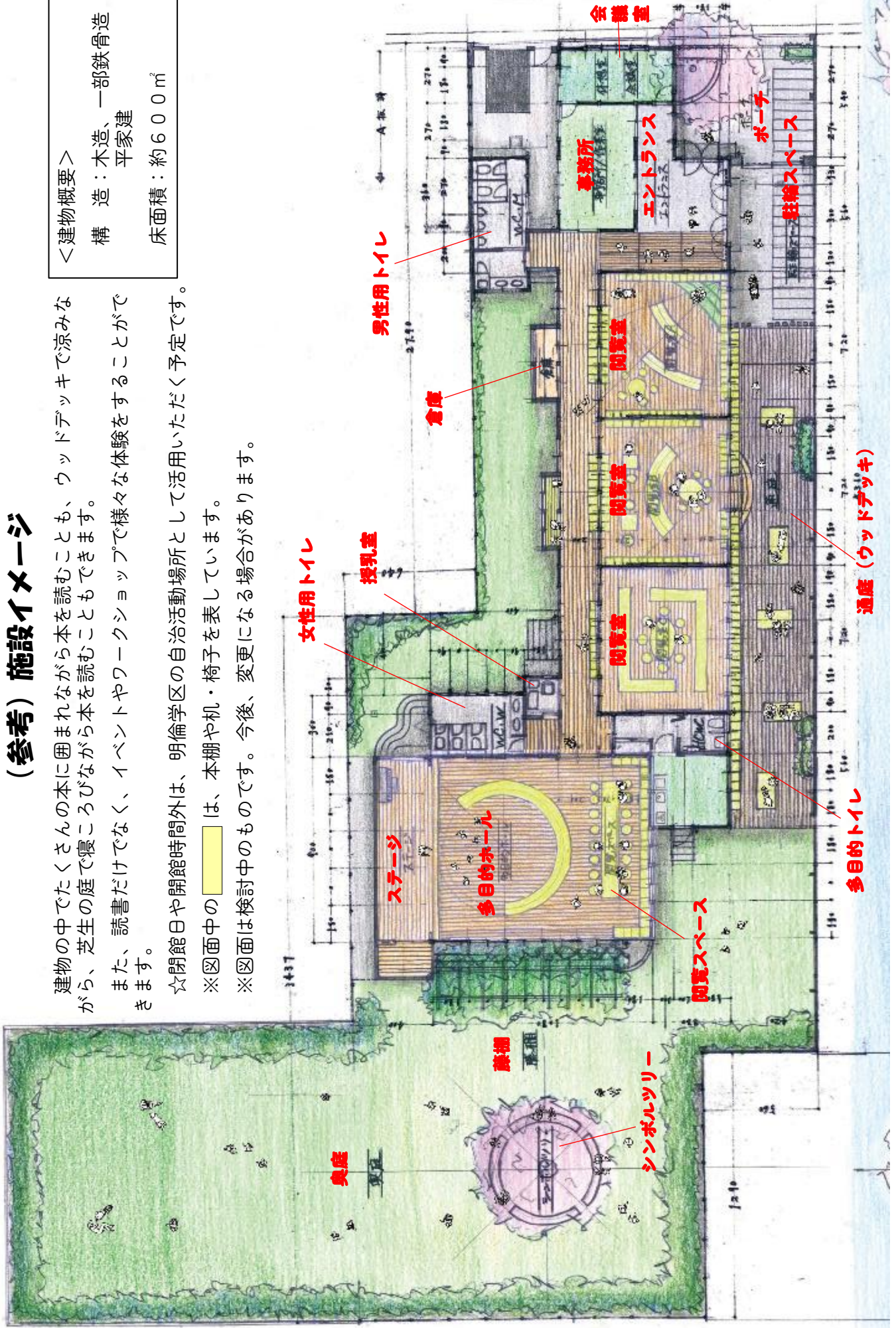
※図面中の は、本棚や机・椅子を表しています。

※図面は検討中のものです。今後、変更になる場合があります。

<建物概要>

構造：木造、一部鉄骨造
平家建

床面積：約600㎡



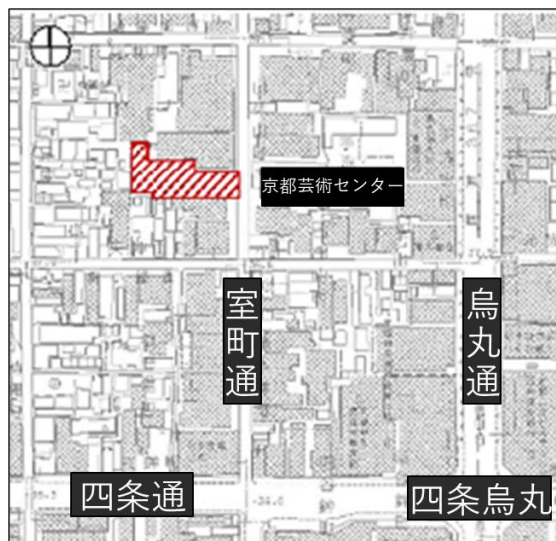
「こども本の森京都」(仮称)の所在地は？

「こども本の森京都」(仮称)は、現在の「元京都市立明倫幼稚園」の建物を改修して開所する予定です。

「元京都市立明倫幼稚園」は、京都市中京区の四条烏丸交差点から徒歩でおよそ5分、京都の文化芸術振興拠点である京都芸術センターの向かいに位置しています。

市内中心部に位置し交通アクセスに優れているほか、「元京都市立明倫幼稚園」が立地する明倫学区は、14基もの山鉾を有し日本三大祭りの一つである祇園祭を受け継ぐ、文化と賑わいが共存するまちです。

所在地：京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町553



「元京都市立明倫幼稚園」とは？

「元京都市立明倫幼稚園」は、地元の方々から寄付をいただき、昭和12年(1937年)に開園し、平成8年(1996年)までの約60年間、多くの子どもたちを育んできました。

閉園以降も、明倫学区の自治会館や祇園祭山鉾連合会事務所としても利用されるなど、長きにわたり地域の皆さまから親しまれてきた、歴史ある場所です。

耐震性が不足しているとの診断を受けたため利用を中止し土地の活用の公募をしていたところ、安藤忠雄氏の目にとめていただき、「こども本の森京都」(仮称)として生まれ変わる予定となりました。



元京都市立明倫幼稚園(「こども本の森京都」(仮称)に改修予定)

本アンケートの実施に関する背景や詳細は、報道発表資料をご確認ください。

※URLはこちら。右にある二次元コードからもアクセスできます。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000352066.html>

